【都野神社（与板八幡宮）「焼組香奉納額」釈文】

奉納

　きふはきさらぎ初卯、洛南

　男山神楽の御神事、当社之

　御一体分身の御神なれば、

　焚組の供香を催し、聊

　神慮を仰ぎたてまつる事、

　　　　　　　　　志加里、

　　　焼組香之記

立舞袖　　　　　　　内山充美

春日野　　　　　　　江口朋光

わか草　　　　　　　三輪弘高

みゆき　　　　　　　山田重記

玉だれ　　　　　　　江口充興

いにしへ　　　　　　三輪長舊

松かぜ　　　　　　　奥山正秀

遠　里　　　　　　　内藤定賢

かすむ月　　　　　　　　朋光

志のぶ　　　　　　　　　充美

匂ひの袖　　　　　　　　弘高

我　宿　　　　　　　　　重記

芦　垣　　　　　　　　　長舊

男　鹿　　　　　　　　　充興

明ぼの　　　　　　　　　正秀

旅ごろも　　　　　　斎藤吉峰

鶴の齢　　　　　　　　　定賢

　仲春初三　　　於社頭開香莚、

卯

　　　　　　　　香許内藤定賢

　　　一炷焼供香

追加

御祓川　　　　　　　江原利正

松　嵐　　　　　　　河西久隆

浅みどり　　　　　　大澤幸孝

茂　山　　　　　　　田母神成鄰

蝉の小河　　　　　 　長明善康

哭　梅　　　　　東武　守随　信

呉　竹　　　　　洛陽　空花恵南①

資料№2-2

天の戸　　　　　浪花　杬全成政

百　華　　　　 　　仝　大口樵翁②

人皇一百五代之御宇御香所

　　西三條前内府

　　　　　逍遥院殿實隆公御家之末流

　　　　　　　　　　浪花隠士大枝流芳子門人③

　　　　　　　　願主　江口氏朋光

宝暦九　 年二月

花押

卯

己

干時

（注）

①空花恵南　　またの名を、空花庵忍鎧、僧侶・香道家、京都の人、【生没年】寛文十（1670）年～宝暦二（1752）年、香道（米川流）で著名。恵南流の祖。

②大口樵翁　　またの名を大口含翠、石州流の茶道を学び大口流を創した茶道家・三条西家の香道（御家流）を学んだ香道家、大阪の人、【生没年】元禄二（1689）年～明和元（1764）年、大枝流芳の師でもある。

③大枝流芳　　香道家、大阪の人【生没年】生年

　　　　　　不詳、没年:寛延二（1749）年～寛延四（1751）年の間と推定されている。大口樵翁に香道を学び、御家流を基盤に、蜂谷流と米川流を参考にして大枝流を創始した。